

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記検査の委託先より検査中止の案内がございました。弊社といたしましては、委託先を変更して、引き続き受託させていただきます。

つきましては、委託先の変更に伴う検査内容変更をご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目

- エコーウイルス(HI) 各種
- TGF- β 1

※変更内容の詳細は裏面をご確認ください。

■変更期日

- 本案内以降、直ちに変更

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
63 64	-	下記、エコーウイルス(HI)の共通変更点	検体量	血清 各 0.3mL(容器:01) または 髄液 各 0.4mL(容器:X)	血清 各 0.2mL(容器:01) または 髄液 各 0.4mL(容器:X)
			保存方法 (安定性)	冷蔵 (4週)	血清 冷蔵 髄液 凍結
			所要日数	4~7日	同左
			実施料/判断料	79点/※6(免疫:144点)	同左
			検査方法	HI	同左
			基準値	(最低希釈倍率) 血清 8倍 髄液 原液	8倍 未満
			検査委託先	LSIメディエンス(→1)	エスアールエル(→5)
193	-	TGF-β 1	検査項目名	トランスフォーミング増殖因子-β 1 (TGF-β 1)	TGF-β 1
			採血量	血液 2.7mL(容器:19) ↓ <u>冷却遠心</u> 乏血小板血漿 0.6mL(容器:X)	血液 2mL(容器:PN2) ↓ <u>速やかに冷却遠心</u> 血漿 0.5mL(容器:X)
			保存方法	凍結	凍結(1ヶ月)
			所要日数	事前にご確認ください	同左
			実施料/判断料	未収載	同左
			検査方法	EIA	同左
			基準値	(健常者参考値) 0.89~1.80 ng/mL	(参考値) 1.56~3.24 ng/mL
			備考	別掲の採血方法にて採取し、必ず血漿分離の上ご提出ください。血清は検査不可。総 TGF-β 1 を測定いたします。活性型のみ測定を希望される場合は、予めご相談ください。	採血後、直ちに氷冷してください。10~60分間氷冷後、冷却遠心(4°C・30分間・1000G)にて血漿分離してください。他項目との重複依頼は避けてください。
検査委託先	LSIメディエンス(→1)	エスアールエル(→5)			

●エコーウイルス(HI) 検査内容変更対象項目

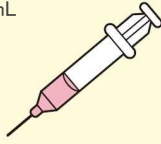
頁	項目コード	検査項目名
63	2669	エコーウイルス 3 型(HI)<血清>
	2670	エコーウイルス 3 型(HI)<髄液>
64	2671	エコーウイルス 7 型(HI)<血清>
	2672	エコーウイルス 7 型(HI)<髄液>

頁	項目コード	検査項目名
64	2673	エコーウイルス 11 型(HI)<血清>
	2674	エコーウイルス 11 型(HI)<髄液>
64	2675	エコーウイルス 12 型(HI)<血清>
	2676	エコーウイルス 12 型(HI)<髄液>

トランスフォーミング増殖因子-β 1(TGF-β 1)の採血方法

操作を2分以内に行う

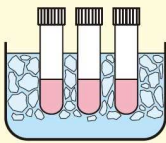
血液 2.7mL



20 ゲージ(19~23 ゲージ)の針を用いたポリプロピレン注射器により、(組織から組織因子の混入を避けるため)2 シリンジ法で初めの血液 2mL を捨て、次の血液 2.7mL を採取して下さい。真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないで下さい。
また、できれば止血帯も使用しないで下さい。10mL 以上の採血は避け、できるだけ血管壁を損傷ないようにスムーズに採取して下さい。



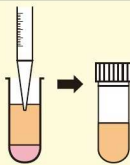
予めキャップを開け冷却しておいた専用容器(容器:19)に採取した血液 2.7mL を移し、ゆっくり 2~3 回反転混和して下さい。
指定のサンプリングチューブ以外は使用しないで下さい。
サンプリングチューブは振とうさせないで下さい。



採血管を速やかに砕氷と水の入ったラックに戻し、冷却して下さい。
砕氷水の水面よりチューブ中の血液の液面が下になるようにして下さい。
角氷は使用しないで下さい。



砕氷水に少なくとも 15 分間静置後、採取血液を 2,500 × g で 20 分間、2~8°C で遠心分離して下さい。
(別表「遠心力の換算表」に 2,500 × g におけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。)
1 時間以内に必ず冷却下で遠心分離して下さい。



上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで 0.6mL 検体容器(容器:X)へ採取して下さい。
検体は必ずプラスチック製試験管に入れて凍結保存して下さい。
(1 ヶ月安定)
血餅に近い部分よりの採取は絶対に避けて下さい。

■遠心力の換算表

遠心力	回転半径 (cm)	回転数 (rpm)
2,500 × g	10	4,700
	12	4,300
	14	4,000
	16	3,700
	18	3,500
	20	3,300
	22	3,200
	24	3,100
	26	2,900
	28	2,800
30	2,700	

■専用容器(容器:19)

19	TGF-β 1 容器		
 <p>[アルミ包装]</p>		採取量	2.7mL
		添加剤	テオフィリン、アデノシン、ジピリダモール、クエン酸、クエン酸 Na
		保存方法 有効期間	冷蔵・遮光 容器および外装表示
		主な検査項目	TGF-β 1